

観光問題

問 観光局組織の見直しは

答 柔軟にプロジェクトチームを編成



太田 修議員

【財政健全化について】

**問** 財政健全化計画について。

**村長** 地方債の順調な返済と基金の堅実な積立をしたい。

**問** 大口滞納案件整理に伴う、共同化の進め方は。

**村長** 県及び市町村が広域連合を設立し、移管事業の基準は大口及び整理困難・不動産の公売・滞納処分等の執行停止事案のなから、タイムスケジュールに沿って進め、平成23年6月1日から具体的な滞納整理がスタート



ハイブリット列車「リゾートビューふるさと」

する予定です。

**問** 村独自の経済対策の有無は。

**村長** 総合計画の後期計画策定や実施計画をローリングし、平成23年度予算編成で真に必要な事業や独自施策を遂行します。

【観光と農業の活性化策について】

**問** 先シーズンの来村スキー客数は100万人を割り込んでおり、今後の対策は。

**村長** スキー客数は100万人を割り込んでおり、今後の対策は。

**村長** スキー人口の減少化に伴い、活性化の鍵は観光と農業の有機的な繋がりと考え、観光分野での素材や資源として生産物に結び付けていきたい。

**問** 観光局組織の見直し計画の有無は。

**村長** 事業目的に沿った柔軟なプロジェクトチームを編成しながら、大勢の村民の方々との関わり合いを持って、局の運営に努めたい。

**問** 農業体験企画への取り組みは。

**村長** 学習旅行の分野においてスポーツ体験や自然体験などに含めたプログラムの充実を図ります。

**問** 生産者と宿の連携による地産・地消の推進計画は。

**村長** 生産者が直売所に出荷した農産物を宿泊施設が購入するケースや、直接農家との契約、自家栽培など、良い素材を求めてお客様に提供する努力が見受けられる。今後、休耕農地の貸し手と借り手の橋渡しや営農指導が一層進むよう努めたい。

**問** 土産品開発の取り組み状況は。

**村長** 「これぞ白馬」というまでには至っていませんが、商工会や生産者の取り組みに対し、引き続き支援していきたい。

**問** 信州デステイネーションキャンペーンの村独自企画は。

**村長** 「未知・歩く・食・おもてなし」の4つをテーマに、期間中、温泉施設や美術館の割引やガレットの販売促進に向けた「白馬ビンゴ・ラリー」の企画。また、日曜日を中心に、「ふるまい」や、駅ホームで音楽団体、小中学生による演奏を計画しています。

【社会福祉の向上について】

**問** 遠距離通学者を対象に冬期間中の下校時間帯への増便計画は。

**村長** 現在の補助事業と比較し、費用対効果の見込まれる方法を慎重に検討すると共に、もう一回再構築を行います。